

平成30年6月18日16時40分  
大阪管区气象台  
神戸地方气象台

## 平成30年6月18日07時58分頃の大阪府北部の地震について

### 地震の概要

検知時刻：6月18日07時58分

(最初に地震を検知した時刻)

発生時刻：6月18日07時58分

(地震が発生した時刻)

マグニチュード：6.1(暫定値)

場所および深さ：大阪府北部、深さ13km(暫定値)

発震機構：東西方向に圧力軸を持つ型(速報)

震度：【最大震度6弱】大阪府大阪市北区(おおさかしきたく)、高槻市(たかつきし)、枚方市(ひらかたし)、茨木市(いばらきし)、箕面市(みのおし)の5市区で震度6弱、京都府京都市(きょうとし)、亀岡市(かめおかし)など18の市区町村で震度5強を観測したほか、近畿地方を中心に、関東地方から九州地方の一部にかけて震度5弱～1を観測しました。

### ○ 防災上の留意事項

大阪府北部では活発な地震活動が続いています。

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全をを図るよう心がけてください。

過去の事例では、大地震発生後に同程度の地震が発生した割合は1～2割あることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度6弱程度の地震に注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

### ○ 地震活動の状況

今回の地震発生後、18日15時00分現在、震度1以上を観測する地震が15回発生しています。(震度2:5回、震度1:10回)

※地震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。

### ○ 気象庁機動調査班(JMA-MOT)の出動

気象庁は、この地震により震度6弱～5強が観測された地域を中心に、地震動による被害調査及び震度観測点の状況確認のため、大阪管区气象台(2班、計6名)、京都地方气象台(2班、計8名)からなる気象庁機動調査班(JMA-MOT)を派遣しました。

本件に関する問い合わせ先：神戸地方气象台 078(222)8915 または 078(222)8907

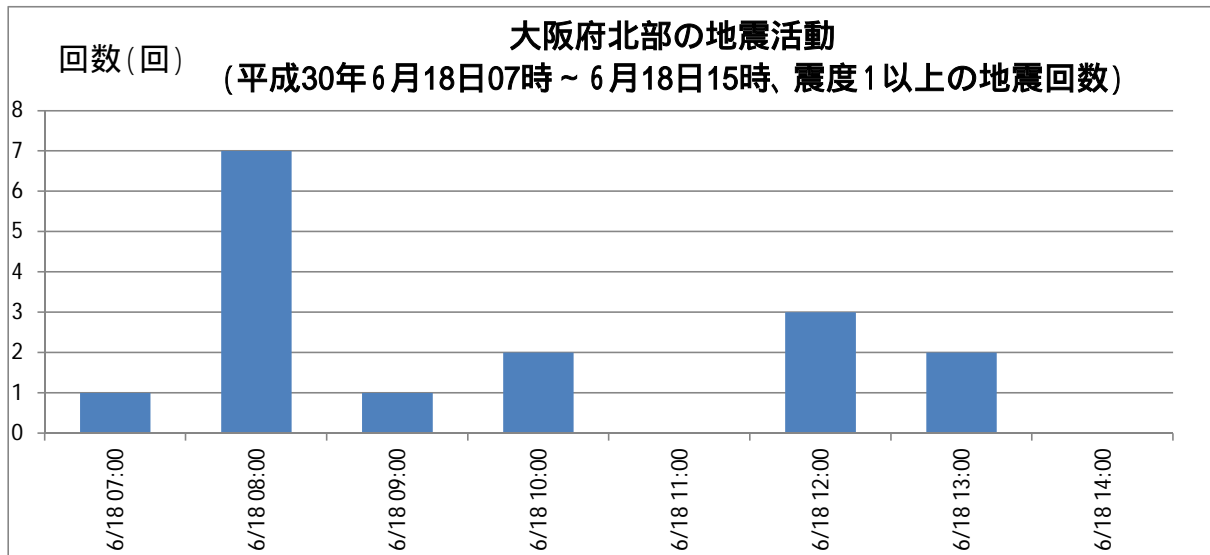
## 大阪府北部の地震活動の最大震度別地震回数表

平成30年6月18日07時～6月18日15時、震度1以上

(注)掲載している値は速報値であり、後日変更する場合があります。

時間帯	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
6/18 07時-15時	10	5	0	0	0	0	1	0	0	0	16	16	

時間帯	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
6/18 07時-08時	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	
08時-09時	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	
09時-10時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
10時-11時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	
11時-12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
12時-13時	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14	
13時-14時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	
14時-15時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
総計	10	5	0	0	0	0	1	0	0	0	16	16	

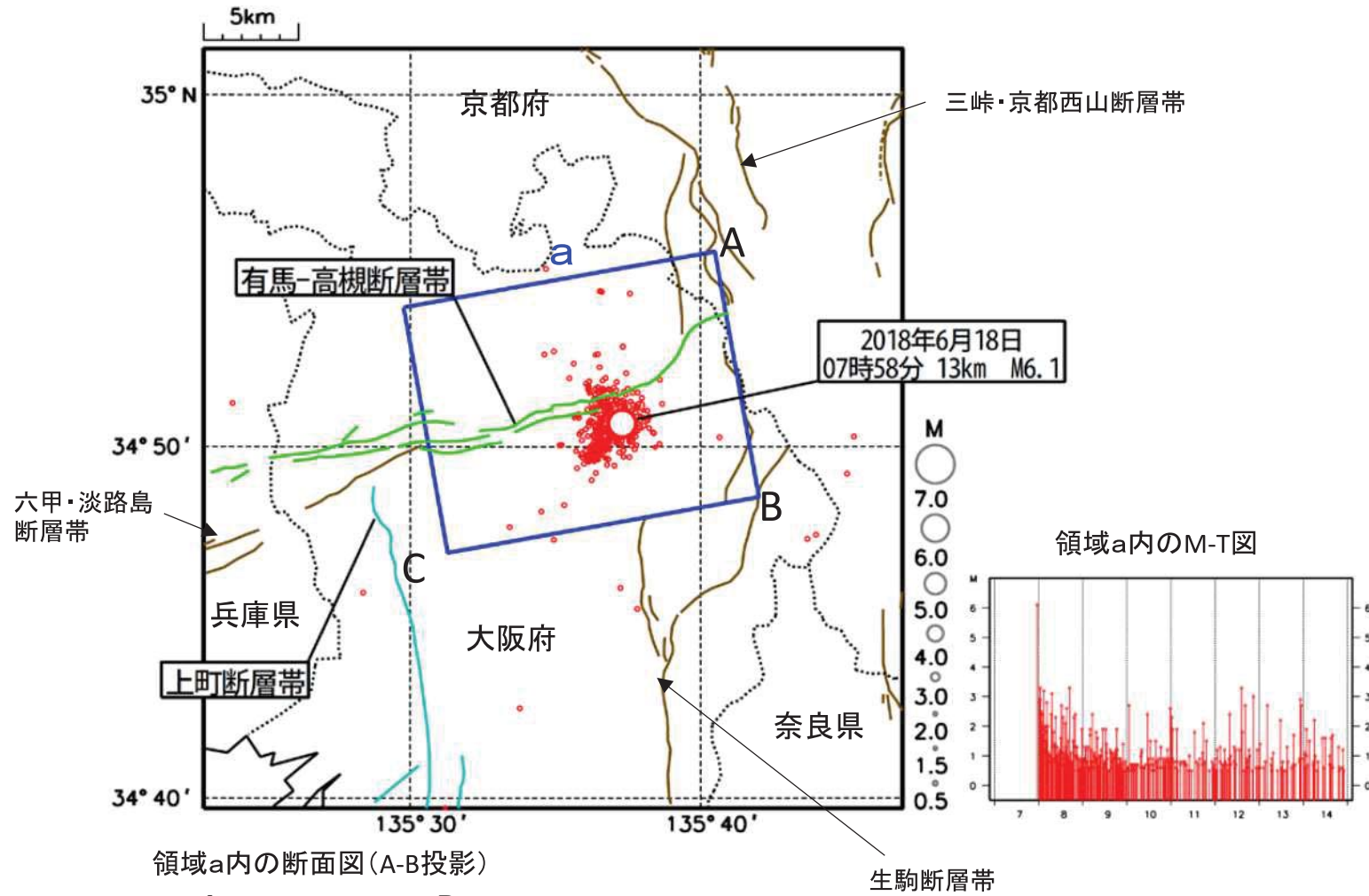


# 6月18日 大阪府北部の地震(地震活動の状況)

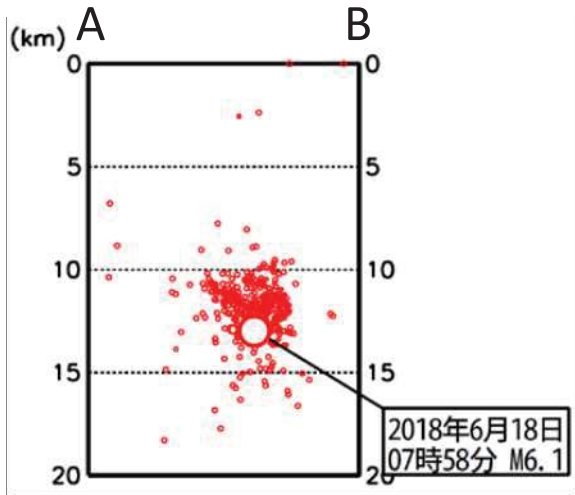
## 震央分布図

(2018年6月18日07時00分~15時00分、 $M \geq 0.5$ 、深さ $\leq 20$ km)

07時58分 $M6.1$ の地震は暫定震源、その他は自動震源

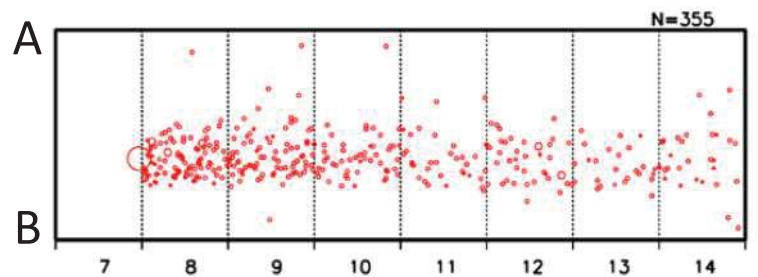


領域a内の断面図(A-B投影)

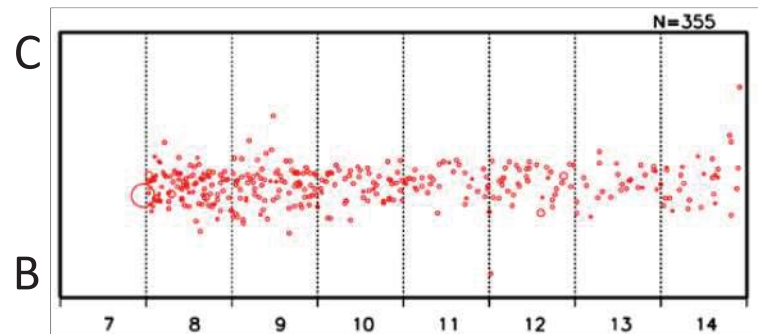
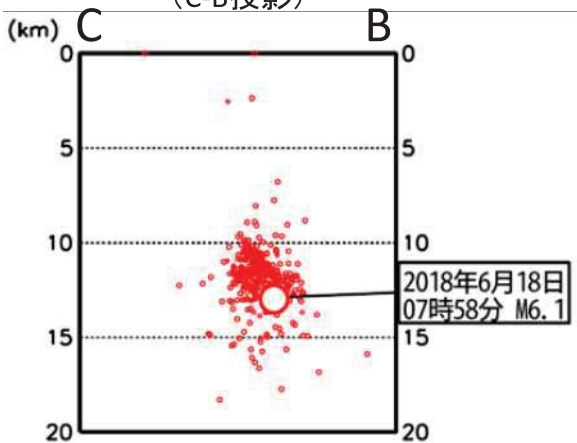


生駒断層帯

領域a内の時空間分布図

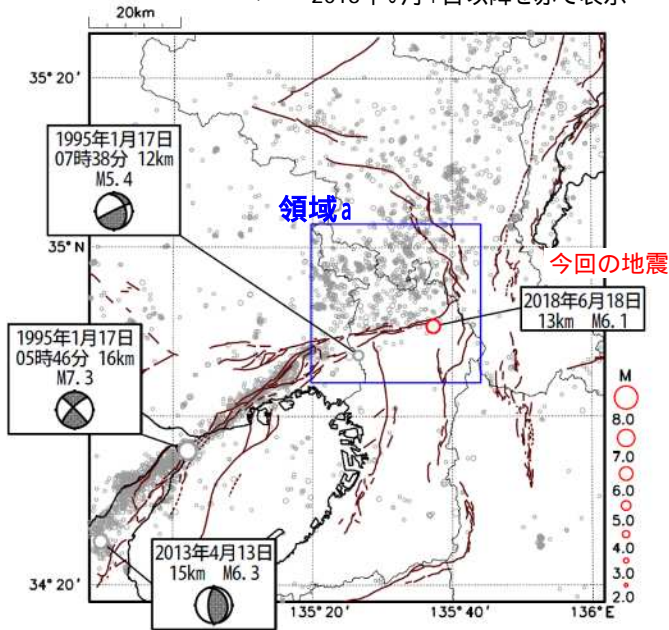


(C-B投影)



# 6月18日大阪府北部の地震

震央分布図(1995年1月1日～2018年6月18日08時00分、  
M 2.0、20km以浅) 2018年6月1日以降を赤で表示



2018年6月18日07時58分に大阪府北部の深さ13kmでM6.1の地震(最大震度6弱)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ型である。

1995年1月以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺(領域a)では、ほぼ定常的な地震活動がみられ、今回の地震はその南端付近に位置している。また、今回の地震から西南西に約60km離れた場所には1995年1月17日にM7.3の地震(最大震度7、「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」)の震源があり、その活動域が北東-南西方向に延びている。この地震では、六甲・淡路島断層帯の一部である野島断層で地表にずれが生じた。

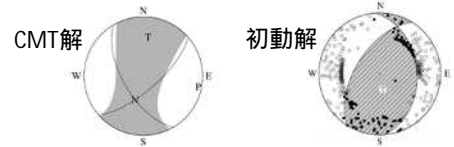
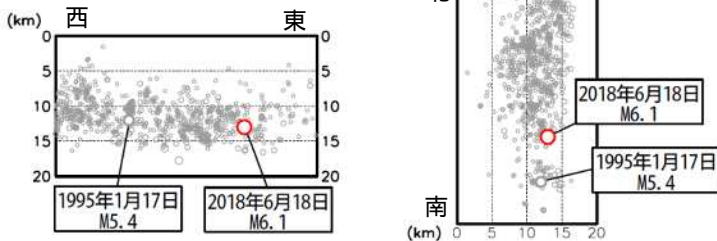
1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域b)では、1936年2月21日にM6.4の地震(河内大和地震)が発生し、大阪府で住家全壊4棟など大阪府及び奈良県で家屋被害などが発生している(「日本被害地震総覧」による)。

M6.0以上及び領域a内のM5.0以上の地震に吹き出し

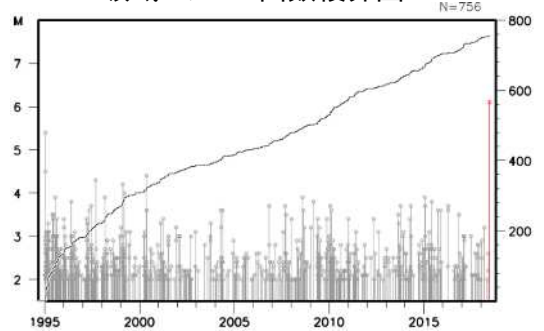
今回の地震の発震機構解

領域aの断面図

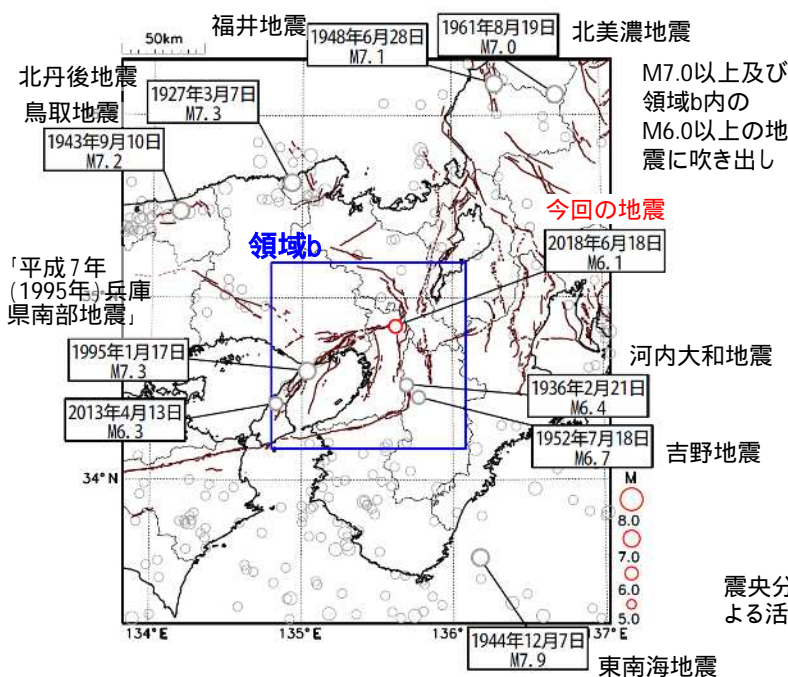
(左:東西投影、右:南北投影)



領域aのMT・回数積算図

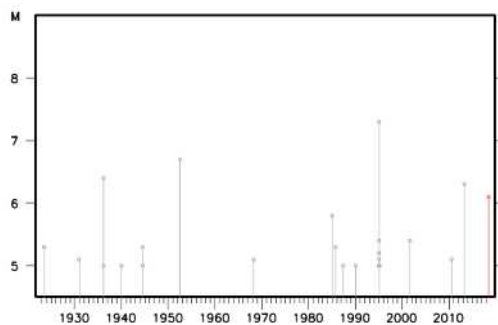


震央分布図(1923年1月1日～2018年6月18日08時00分、  
M 5.0、100km以浅) 2018年6月1日以降を赤で表示



M7.0以上及び領域b内のM6.0以上の地震に吹き出し

領域bのMT図



震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。